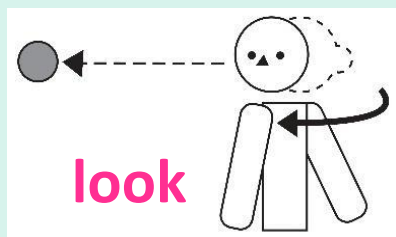
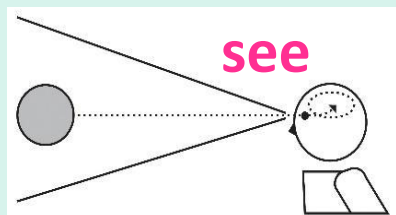


# < 基本動詞 > look & seeの世界

## CORE IMAGE



視線を向ける



視覚器官が働き、何かを視野にとらえる

I am seeing John.



look と see の違いは何でしょうか。Look and see what's going on outside. といえば「外で何が起きているか見てみよう」ということです。この場合、先に look して次に see するという順番になります。どうしてでしょうか？



Look and see what's going on outside.

外で何が起きているか見てみよう

まず、look のコアは「視線を向ける」というものです。

look は<視線を向ける>という点が肝腎だから、視線の向ける方向(先)を示す前置詞や副詞が必要となります。look と結びつくのは at だけでなく {up, down, forward, backward, through, into, around} なども可能です。物事の順番としては<あるモノに視線を向けて、そして見る>が自然であり、look and see の順番が自然なわけです。ここで重要なのは、look しても必ずしも see したことにならないという点です。これは、I looked at it over and over again, but didn't see anything. という表現が成り立つことから窺い知ることができるでしょう。また、look の<視線を向ける>という働きを利用して相手の注意を引く (attention-getting) 表現として look が使われることは容易に理解できるでしょう。

さらに、look は視線を向けるという動作動詞であるということを考えれば、どうして進行形になるか理解可能なはずです。 **He is looking at the dog.** では、第三者にも犬の方を向いているということは見えることですが、本当に犬を視野に捉えているかどうか (see しているかどうか) は見るできません。「見る」と「みえる」の関係については、 **I looked at John.** → **John looks happy.** の流れを考えてみるとよいですね。それはちょうど、何かを触ると手触りを感じますが、「触る行為(動作)」と「手触り(結果)」の両方を touch で表すことと関連があります。つまり、ジョンに視線を向けたその結果として、ジョンの様子がこちらに照射してくる関係です。



**I looked** at it over and over again, but didn't **see** anything.

何度も何度も見ましたが、何も見えませんでした



He is **looking** at the dog.

彼はその犬を見ている



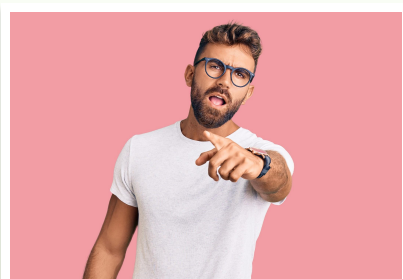
**I looked** at John.

私はジョンを見た

John **looks** happy.

ジョンは幸せそうだ

look には「よく見る」の意があるため、 **Look what you've done to me!** (よくもやってくれたな!) のような使い方もあります。



**Look** what you've done to me!

よくもやってくれたな!

一方、see のコアは「視覚器官が働き、何かを視野にとらえる」というものです。

see のコアには<視覚器官の働き>と<対象を視野に捉える>の2つの要素が含まれていますが、それは名詞形の sight に「視力」と「景色」の2つの意味があることを考えると分かりやすいですね。「生まれたばかりの赤ん坊は目が見えない」は<視覚器官の働き>に重点を置きつつ、**Just born babies still don't see.** と表現することができます。それに対して、「暗闇で何も見えない」という状況では、視覚器官が正常に機能していることを前提にしつつ、**I can't see anything in this darkness.** と表現されます。



Just born babies still don't **see**.

生まれたばかりの赤ん坊は目が見えない



I can't **see** anything in this darkness.

暗闇で何も見えない

ちゃんと見届けるという意味合いが see にあるため、次のような使い方があります。



Have you ever **seen** an egg hatch?

卵がかえるのを見たことがありますか



The king hoped to **see** the castle completed.

王は城が完成するのを見たいと願った



I **saw** the boy swimming across the river.

少年が川を泳いで渡っているのが見えた

目でちゃんと捉えるということから「わかる」という状況でも see を使います。

**He doesn't see that it matters.** (彼はそれが大事だということがわからないのだ)だとか

**I see what you mean.** (おっしゃることはわかります)がその例です。



He doesn't **see** that it matters.

彼はそれが大事だということがわからないのだ



I **see** what you mean.

おっしゃることはわかります

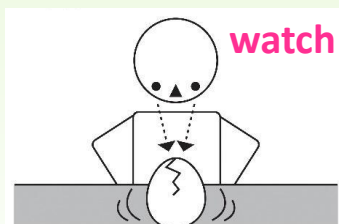
通常、「見える」という意味合いでは see を進行形にすることはしません。しかし、「人物を見る」ことから「会う」、さらに「付き合う」と意味が展開した場合には、**I am seeing John.** (私はジョンと付き合っている)のように進行形で表現します。付き合えば「ジョンを見る状態が続く」ということになります。



I am **seeing** John.

私はジョンと付き合っている

look と see の違いに加えて、watch も見ておきましょう。  
watch のコアは、「動きがあるものを注意して見る(見張る)」です。



何か変化を予測しながら見ているというのが watch です。I usually watch TV after dinner. (夕食後たいてい TV を見る)の TV はテレビ映像のことで、テレビ受信機ではありません。映像はどんどん変化します。Watch my bag while I'm away. といえば「ちょっといない間、私のカバンを見張ってください」ということですが、誰かが盗むといけないので、という意味合いがあります。Watch your steps. (足元に気をつけて)も危ないことがあるかもしれないので注意を向けておくということです。Watch your language. (コトバ使いに気をつけなさい)はコトバが乱れてことに注意を向けるという意味。watcher には「情報筋」の意がありますが、状況変化に注意を向けている人ということです。



I usually watch TV after dinner.

夕食後たいてい TV を見る



Watch my bag while I'm away.

ちょっといない間、私のカバンを見張ってください



Watch your steps.

足元に気をつけて



Watch your language.

コトバ使いに気をつけなさい